

# 留 学 報 告 書

記入日:2015年1月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: サザンイリノイ大学カーボンデール校 現地言語: Southern Illinois University Carbondale
留学期間	2014年8月～2014年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2014年12月20日
明治大学卒業予定年	2016年3月



留学先大学について			
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期:8月中旬～12月中旬 2 学期:1月中旬～5月中旬		
学生数	18,847 名		
創立年	1869 年		
留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料		円	免除
宿舍費	4,847	円	ミールプラン(食費)込みで
食費		円	
図書費	300	円	Amazon や大学内のブックストアで購入
学用品費	50	円	
教養娯楽費		円	
被服費	500	円	
医療費	6	円	一度だけ診てもらったため
保険費		70,000 円	形態:リエゾンデスクで加入
渡航旅費		308,400 円	
雑費		円	
合計	5,703 以上	円	

### 渡航関連

渡航経路:往路:シカゴ経由、復路:サンフランシスコ経由

渡航費用

チケットの種類 往復チケット

往路

復路

合計 308,400 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS

### 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

オンキャンパスの寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1 人)

3)住居を探した方法:

大学からの指示に従いました

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は大きなタワーのインターナショナルフロアにいたため、ルームメイトも留学生で、友達もすぐに作ることができました。大学から寮の案内が来たら、すぐにアプライすることをお勧めします。

### 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:大学の医務室

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

CIE(Center for International Education)のオフィス

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットや現地に住んでいる生徒から。夜ひとりで出発かない、寮であってもドアに必ず鍵をかける、など

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。  
(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)  
たまたま Wi-Fi の接続の調子が悪いこともありましたが、大きな問題ではなかったです。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)  
キャッシュパスポートを利用して日本の親から送金してもらいました。ほとんどクレジットカードを利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。  
特にはないと思います。

### 進路について

1) 進路  
 就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intoroduction to Hospitality and Tourism Industries	ホスピタリティ・ツーリズム入門
科目設置学部・研究科	Hospitality and Tourism Administration(HTA202)
履修期間	2014, 8~2014, 12
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に 70 分が2回
担当教授	Mr. Anthony Agbeh
授業内容	アメリカのホスピタリティ業界(ホテル、レストラン、クルーズ、カジノ、クラブ)におけるキャリアやマネジメントについて。
試験・課題など	毎授業 1 チャプターずつのリーディングとそれについての簡単な問題やレポート、また学期中 4 回の試験と、合格すれば Facility のとれる期末試験がありました。
感想を自由記入	担当教授がナイジェリア人の方だったため、アクセントがわかりづらく、聞き取りに苦労した部分もあり、テストも細かい内容まで問われるもので点数のとりづらい授業ではありましたが、テキストや授業内容自体はわかりやすいものでした。5 回のゲストスピーカーによる授業は各産業の現場のことについてよく知ることができました。予想以上に各ホスピタリティ産業のマネジメントについてを学ぶという印象でした。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>	<b>履修した授業科目名(日本語):</b>
Speak/Listen in ESL	スピーチ・リスニング(留学生向け)
<b>科目設置学部・研究科</b>	Linguistics(LING100)
<b>履修期間</b>	2014, 8~2014, 12
<b>単位数</b>	3
<b>本学での単位認定状況</b>	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
<b>授業形態</b>	チュートリアル
<b>授業時間数</b>	1週間に 50 分が 5 回
<b>担当教授</b>	毎週変わる
<b>授業内容</b>	週ごとに担当の先生とピックが変わり、主に文化について学びました。
<b>試験・課題など</b>	なし
<b>感想を自由記入</b>	授業は主にアクティビティであるし、トピックも様々で、先生の中にはネイティブではない方もいて、楽しい授業でした。また、毎日クラスメイトとも顔を合わせるし、全員留学生なので友達が増えました。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>	<b>履修した授業科目名(日本語):</b>
English Composition 1 for ESL	ライティング(留学生向け)
<b>科目設置学部・研究科</b>	Linguistics(LING101)
<b>履修期間</b>	2014, 8~2014, 12
<b>単位数</b>	3
<b>本学での単位認定状況</b>	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
<b>授業形態</b>	講義形式
<b>授業時間数</b>	1週間に 50 分が 3 回
<b>担当教授</b>	Mr. Joshua Dees
<b>授業内容</b>	全 3 種類のエッセイ提出のための書き方 リサーチ
<b>試験・課題など</b>	3 種類のエッセイ
<b>感想を自由記入</b>	留学生のためのアカデミックなエッセイの書き方の基礎を学びました。国際日本学部の必修の授業と似ているところもありましたが、私にとっては復習にもなり、またほかの授業のレポートにも必要な知識だったため、エッセイの提出は大変でしたが履修して良かったと思いました。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>	<b>履修した授業科目名(日本語):</b>
Interpersonal Communication	対人関係におけるコミュニケーション
<b>科目設置学部・研究科</b>	Speech Communication(SPCM262)
<b>履修期間</b>	2014, 8~2014, 12
<b>単位数</b>	3
<b>本学での単位認定状況</b>	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
<b>授業形態</b>	講義形式
<b>授業時間数</b>	1週間に 150 分が 1 回
<b>担当教授</b>	Dr. Todd Graham
<b>授業内容</b>	人と人がコミュニケーションを取る際の心理や行動について
<b>試験・課題など</b>	毎授業 2~3 チャプターずつリーディング 授業内にそれについてのクイズ 2 種類のレポート提出 3~4 回 試験 2 回(中間・期末)
<b>感想を自由記入</b>	この授業は留学生が他にいない授業であり、また教授の話すスピードがとても速かったためノートテイクが大変でしたが、教授から講義の録音を提案してくれたり、またクラスメイトも優しく、気にかけてくれたため、ついていくことができました。授業内容やテキストがとても面白かったため、週に一度の 150 分という長い授業でしたが楽しく履修することができました。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>	<b>履修した授業科目名(日本語):</b>
Communication Across Cultures	異文化間コミュニケーション
<b>科目設置学部・研究科</b>	Speech Communication(SPCM301)
<b>履修期間</b>	2014, 8~2014, 12
<b>単位数</b>	3
<b>本学での単位認定状況</b>	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
<b>授業形態</b>	講義形式
<b>授業時間数</b>	1週間に 50 分が 3 回
<b>担当教授</b>	Mr. Joshua Daniel Phillips
<b>授業内容</b>	「グローバル」という言葉を軸に、主にアメリカでの多文化について、教育、移民、ポップカルチャーなどの視点から学びました。
<b>試験・課題など</b>	リーディング 全 7 回のクイズ 4 回のレポート提出(最後はプレゼンテーションも含む) 2 回の試験(中間・期末)
<b>感想を自由記入</b>	最初の授業から難しいリーディング課題が出されたり、課題が毎回重いものではありませんでしたが、各テーマについて授業内でもレポートを書く際にも深く考える機会があったため、より深く理解し、興味を持つことができました。その分やりがいのある授業だったと思います。



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	
4月～7月	大学入学後から、授業を利用して英語力の向上に努めました。
8月～9月	夏休みを利用して一か月間ニューヨークへ語学研修に行きました。
10月～12月	大学入学後からこの時期までに TOEFL は 4 回ほど受験しました。 志望校を定め、選考準備をしました。
2014年 1月～3月	派遣先大学決定 TOEFL の点数が若干足りなかったので再度受験しました。
4月～7月	VISA 申請、寮や履修の登録
8月～9月	8 月上旬に出発、オリエンテーション 中旬から授業開始
10月～12月	10 月；中間試験、フールブレイク 11 月；サンクスギビング 12 月；期末試験、冬休み 12 月下旬：帰国
2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	日本には知ることのできない文化や国の違いを肌で感じたかったから、またこれまで実家暮らしで、一人ですべてを解決しなければいけない状況にさらされたことがなかったの、自分の力を試したかったからです。そして協定留学は明治大学から一人の派遣であるため、知り合いのいない環境に身を置くことで成長できると思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語の語彙力をもっとつけておけば良かったと思いました。リスニングやリーディングは自分の中での問題ではありますが、会話をする際ボキャブラリーが少なく初めの頃は友達やルームメイトとの会話でも電子辞書を使用することが多く、もっと初めからスムーズに会話できていたかったと思うからです。また、日本のことをもっと勉強しておけば良かったと思いました。政治や歴史もですが、漫画やアニメなどは、日本に興味があって話しかけてくれる人との盛り上がるトピックになるからです。
この留学先を選んだ理由	一番大きい理由は TOEFL の点数でした。そして、自分がアプライできる大学の中でも日本からの留学生が少ないということと、総合大学であるため、たくさんのメジャーがあって授業も幅広いため、明治大学では学べないことを学べると思ったからです。特により専門的な知識を学べるホスピタリティの授業や、心理的な要素のあるコミュニケーションの授業を履修できるということが魅力的でした。
大学・学生の雰囲気	大学はとても広く、想像以上に綺麗でした。中国系の留学生が多いというのと、ブラックの方が多いというのが受けた印象でした。どの生徒もとても明るくフレンドリーで、クラスメイトだけでなく道ですれ違ったり、またエレベーターと一緒になったりしたときにもたくさん話しかけられたりと、たまに驚くこともあるくらいでしたが、楽しく過ごすことができました。
寮の雰囲気	私はインターナショナルフロアにいたということもあり、同じフロアのメンバーはみんな心の距離も近く、よく共有スペースでゲームをしたりテレビや映画を見たりしました。フロアみんなで出かけるということもあるくらい仲良くなりました。誕生日をみんなで祝ったりもしました。毎日が修学旅行の夜のような感じでした。
交友関係	留学前最も不安だったのが、友達を作ることができるか、ということでしたが、初日からルームメイトともたくさん話すことができましたし、同じ寮の留学生同士情報を交換したり、わからないことをアメリカ人のメンバーに聞いたりするうちに仲良くなりました。特にブラジルからの留学生がとても多かったのですが、「友達の友達は友達」というように、どんどん輪が広がって、より多くの友達を作ることができました。
困ったこと、大変だったこと	秋休みやサンクスギビングなど、休みごとに寮を出なければならず、もし一日でも滞在するとその休み期間全額を支払わなければならない、という決まりが今年からできてしまったため、寮費の援助のない留学生の私たちはどこかに旅行に行くか友達の家を探さなければならず、苦労しました。
学習内容・勉強について	私はコミュニケーションについての授業を主に履修しました。特に多文化コミュニケーションについての授業は、明治大学でも似たような名前の授業を履修したことはありましたが、こちらの授業はより社会的に、論理的にアプローチするものであり、難しい内容も時にはありましたが、とてもやりがいがあり、興味深かったです。クラス内のディスカッションではクラスメイトがいつもフォローしてくれました。
課題・試験について	予想はできていましたが、それを上回る量のリーディング課題が出され、毎日何かを読んでいるという日々でした。また、レポートの割合が高い授業ばかりだったので、途中で長いエッセイを書くということに慣れてくるほどでした。文法や言い回しなど、不安な部分はライティングセンターで見てもらうことも可能でしたし、プレゼンテーションはルームメイトと練習しあったりもしました。やればやるだけ結果で報われると感じました。
大学外の活動について	日本が好きであったり、日本語を勉強している人たちと開くジャパニーズテーブルに参加したりしました。
留学を志す人へ	ただ英語が喋れるようになりたい、異文化を体感したい、というだけでは大きな収穫が得られないと思いました。行く前から積極的に情報を集め、こういう自分になりたい、こんなことを学びたい、という意味をしっかりと持っていくことが重要だと思います。アメリカで生活し、毎日英語で授業を受け課題をこなしていれば、英語力は伸びるはずですが、このことに期間の長い短いあまり関係ないのでは、と思います。それ以外の面にフォーカスして具体的な目標を持って臨めば、それだけの成長が期待できると思います。その目標に向かって諦めずに努力するためのモチベーションとなるからです。期待以上の学びが待っています！頑張ってください！

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業	課題	課題
午後	授業	授業	授業	授業	授業	買い物	おしゃべり
夕刻	課題	課題	授業	ジム	外出	外出	課題
夜	ジム	課題	課題	課題	外出	外出	課題